

2019年2月27日

No. 19-064

株式会社 伊予銀行

## 「地域文化活動助成制度(特別募集)」の募集期間延長！

～「平成30年7月豪雨」で被災された団体の地域文化再生と活動継続をお手伝い～

株式会社 伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、被災地における伝統芸能をはじめとした文化活動団体・グループを対象に、「伊予銀行地域文化活動助成制度(特別募集)」の募集期限を、当初の2019年2月28日から2019年8月30日まで延長いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### ○目的

「平成30年7月豪雨」で被災された団体を対象に、紛失・破損した物品類の新調・修繕等、活動再開にかかる費用を助成させていただき、地域文化再生と活動継続を支援するため、「伊予銀行地域文化活動助成制度(特別募集)」を、2018年8月1日から募集を開始しました。

これまでに5団体に総額約272万円を助成させていただき、他にも6団体からご申請をいただいておりますが、日々の生活復興が優先され、この制度の存在を知らない被災団体もまだまだあると予想されるため、募集期間を半年間延長し、2019年8月30日（金）までといたします。

#### ○申請金額

1団体 50万円まで

#### ○募集期間

2018年8月1日(水) ～ 2019年8月30日(金) (予定)

#### ○応募方法

別紙「助成応募要領」の助成申請書に必要事項をご記入のうえ、被災状況がわかる写真や資料を添付して、最寄りの当行本支店へご提出ください。

なお、「助成応募要領」は店頭に備え置いているほか、当行ホームページよりダウンロードすることができます。

#### ○助成対象要件

愛媛県内で、原則として10年以上の継続した活動実績を持つ団体・グループで、「平成30年7月豪雨」にて被災された団体・グループ

以上

「平成30年7月豪雨」被災団体対象  
伊予銀行地域文化活動助成制度  
(特別募集)  
助成応募要領

～地域文化の復興をお手伝い～

伊予銀行は、社会貢献で  
潤いと活力ある地域の明日を創ります

2019年3月

「平成 30 年 7 月豪雨」被災団体対象  
地域文化活動助成制度(特別募集)のご案内

**趣 旨**

本制度は、地域文化の発展と向上のため、愛媛県内で歴史的重要性や伝統性等に優れた「草の根的」な文化活動を行っている団体・グループに対して、その活動資金の一部を助成させていただく制度です。

通常、年 2 回募集を行っておりますが、このたびの「平成 30 年 7 月豪雨」にて被災された先を対象に、以下の要領で、紛失・破損した物品類の新調や修繕等を支援させていただきます。

郷土芸能をはじめ、各地に根付いた文化活動は地域の誇りであり、人々を結びつけ、コミュニティ再生の要ともなるものです。多様な地域文化を途絶えさせないためにも、当行がそのお手伝いをできればと願っております。

**応募方法**

後掲の「地域文化活動助成申請書」にご記入の上、最寄りの伊予銀行の支店窓口にお申込みいただきます。なお、応募にあたっては、お取引の有無は一切関係ありません。

**助成対象** 被災した物品の新調・修繕など、活動再開に係る費用

**申請金額** 1 団体 50 万円まで

◆ **応募期間** 2018 年 8 月 1 日(水)～2019 年 8 月 30 日(金) (予定)

◆ **スケジュール**

申請書類提出	最寄りの伊予銀行の支店窓口へご提出ください。
書類審査	支店長推薦を経て担当部で書類審査いたします。要件に満たない場合は、お断りすることもありますので、ご了承ください。
面談・ヒアリング	活動や被災状況に関して詳細をヒアリングさせていただきます。
審査・助成決定	文化振興顧問団委員からのご助言を元に、事務局にて審査を行います。助成金額は、被害状況や活動実績等により決定されます。
選考通知・助成金の贈呈	選考結果・助成金の贈呈方法については、各推薦店を通じてお知らせします。
活動報告書の提出	物品の購入・修繕等が完了した後、報告書をご提出いただきます。

◆ 「伊予銀行文化振興顧問団委員」のメンバーについて

愛媛県内の有識者からなる「伊予銀行文化振興顧問団」を編成し、当行の文化助成事業全般にわたってご助言・ご提言を頂いております。

氏 名	現 職
三木 吉治 氏	愛媛大学名誉教授
新居田 大作 氏	今治地方文化交流会会長
竹田 美喜 氏	松山市立子規記念博物館館長
森 正康 氏	愛媛県文化財保護審議会委員(松山東雲短期大学名誉教授)
大本 敬久 氏	愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員

## ◆助成要件

1. 愛媛県内で活動する団体・グループで、原則10年以上の活動実績を有し、  
「平成30年7月豪雨」にて被災した先。
2. 地域に密着した住民参加型「草の根」文化を伝承していること。
3. 次の基準項目に照らして総合的に優れた特性を有していること。  
【歴史的重要性】【伝統性】【芸術性】【成長性】【独創性】【公共性】【継続性】
4. 次の事項に該当しないこと。
  - (1) 個人的趣味・稽古事の延長である。
  - (2) 営利を目的としている。
  - (3) 行政またはそれに類似する団体等が主体となって進める事業。
  - (4) 特定の宗教・思想・政治団体等との関連がある。
  - (5) 反社会的勢力等との関連がある。
  - (6) ボランティア・福祉的色彩が強い。(NPO団体も含む)
  - (7) 規約・活動計画等の組織的態勢を有していない。

分野	活動事例
音楽	コーラス・器楽・邦楽等
美術	絵画・版画・彫刻・写真等
演劇	ミュージカル・演劇等
文芸	俳句・短歌・川柳等
郷土芸能	獅子舞・鹿踊り・神楽・歌舞伎・伝承踊り・練り行事等
創作芸能	創作太鼓・創作舞踊等
郷土史	郷土史・民俗学・考古学の調査研究書の出版等
国際交流	文化振興を目的とした国際交流活動等
生活文化	地域の発展向上に寄与する生活文化の習俗継承等
自然科学	ホタル保存等の自然環境保全に関する調査研究等

## その他 注意事項

1. 原則として1団体（グループ）につき1回限りとします。
2. 通常の募集では「過去に本制度を受けた団体は、前回の助成から10年以上経過していること」が申請要件となっていますが、今回は経過年数に関わらずご申請いただけます。  
(前回助成から10年未満でも申請可)
3. 本特別募集枠をご利用された場合、次回のご申請は10年経過後からとなります。

## 申請要件チェックリスト

本制度の趣旨に適っているかどうかのご判断について、下記チェックリストをご参照ください。

団体あるいはグループとして複数人数で活動している。	YES・NO
地域に根ざした文化の伝承活動を行っている	YES・NO
10年以上の定例的かつ継続的な活動実績を持ち、活発に運営されている。	YES・NO
趣味やお稽古事の延長ではなく、またレクリエーションの範囲を超えた文化活動を行っている。	YES・NO
ボランティアや福祉の分野ではなく、伝統性のある文化的な性質を持った活動を行っている。	YES・NO
地域おこしや人集めのイベント開催に終始せず、文化的要素を含む活動を行っている。	YES・NO
営利を目的とした活動や、個人的な利益に結びつく活動ではない。	YES・NO
特定の宗教や思想、政治団体との特別な結びつきはない。	YES・NO
役員等を含め、反社会的勢力に該当しない団体・グループである。	YES・NO
地公体が主催する事業の開催や、地公体が主体となった運営ではない。	YES・NO
連盟や協会等の事務局的な活動ではなく、会員自らが自主的・創造的に活動している。	YES・NO
規約や役割などが明確で、組織として構成されている。	YES・NO
年間の活動計画および収支計画が明確である。	YES・NO
助成を申請する事業の収支計画が明確である。	YES・NO
活動を次代へ継承していくための具体的方策（後継者対策等）を講じている。	YES・NO

上記はあくまでも目安の一部です。ぜひ、お近くの伊予銀行へご相談ください。

なお、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

## お申し込みの際に必要な書類

下記書類を最寄りの伊予銀行の支店窓口へご提出ください。

1. 「平成 30 年 7 月豪雨災害」対象 地域文化活動助成 申請書 全 4 枚  
(申請書は当行ホームページ【<http://www.iyobank.co.jp>】からダウンロードすることもできます。)
2. 活動内容について掲載された資料がある場合は A 4 サイズのコピー
3. 対象物品の被災状況や、元の状態が分かる写真・映像など
4. これまでの活動状況を撮影した写真・映像など

**※被災により上記資料が揃わない場合でも、ご申請いただけます。**

## 「地域文化活動助成申請書」記入上の留意事項

1. 【団体名】【代表者氏名】には、必ず『ふりがな』をお付けください。  
【代表者役職】は、「会長」や「代表」など、団体における役職をお書きください。
2. 「 - 2 . 実施時期」は、申請活動の開催日(予定日)をお書きください。
3. 「 - 3 . 実施場所」は、会場名や神社名など、わかる範囲で詳しくお書きください。
4. 「助成希望金額」は、「 - 4 . 本年度活動収支計画」の不足額を目処として万円単位でご記入ください。

ご不明な点がございましたら下記までお問合せください

〒790-8514 松山市南堀端町1番地 伊予銀行 広報CSR室  
TEL. 089-941-1141

地域文化活動助成申請書 (特別募集)

年 月 日

株式会社 伊予銀行 殿

下記の物品の新調・修繕等を実施するにあたり、貴行の助成を申請します。

ふりがな

【団体名】

ふりがな

【代表者役職】

【代表者氏名】

印

【助成金使途】

【助成希望金額】

万円

・ 団体の概要

1. 連絡先 (団体所在地 または 代表者連絡先)

住 所 〒

電話番号 ( ) -

(携帯電話番号 ) (メールアドレス )

(上記が代表者連絡先でない場合)

団体における役職名

ふりがな  
氏 名

2. 会員数 男性 名 / 女性 名 / 子供 名 / 合計 名

年齢構成 歳 ~ 歳 (中心は 歳代) (大人中心 / 子供中心)

3. 団体設立年月 または 活動開始年月 M・T・S・H 年 月

4. ホームページ <http://>

5. 設立の経緯 (なるべく詳しくご記入下さい。)

( 伝統芸能分野の場合、発祥や起源などの由来・歴史的背景等、可能な範囲でご記入下さい。  
地域の言い伝え等でも結構です。(市町村誌等の資料がある場合はコピー添付) )

6. 活動の目的

1．定例的な活動（催しやイベント出演等、定例的な活動）

2．定期練習（会合）状況

期 間：        月        日 から        月        日 まで        もしくは        通 年

回 数： 月 ・ 週                      回 /                      時 から                      時 まで

場 所：

指導者： 職業または勤務先    氏 名

練習・活動内容（参加率なども含めて具体的に）

3．過去の活動状況（上記以外の主な活動，時期・場所・催事名など）

4．活動の中で特長的な事柄や特色、アピールしておきたい点

獅子舞など伝統芸能・創作芸能で演目がある場合は、名称・あらすじ・内容について  
独創的・地域独自と思われる事柄、見せ場や自慢できる点について



5 . これまでに苦労した事・感動した事・印象深い出来事など

---

6 . 今後の目標など

---

7 . 後継者対策（会員獲得）のため実施していること

． 助成を申請する物品について（できるだけ具体的にご記入下さい。）

1 . 物品の名称・助成金使途（例:                      の新調）

---

2 . 次回使用予定時期

年 月 日(      ) ～      年 月 日(      )

---

3 . 実施場所（会場や神社などがあればその名称）

---

4 . 本年度活動収支計画（本申請事業を含んだ年間の収支予想をご記入下さい）

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
会員年会費(@      円)			
合 計 (A)		合 計 (B)	

  

不足額 = (A) - (B) = △      円

---

5 . 助成希望金額

万 円 ←

**6 . 申請対象物について**

修理・新調する物品の現状や個数等について

**7 . 申請する活動・催物等について、特色（特に力を入れていること）があれば。**

**8 . この制度を何でお知りになりましたか。**